

夏どりハクサイの品種比較

小川 勉・松原德行 (長崎県総合農林試験場)

OGAWA, T. and N. MATSUBARA : Heat Tolerance Test of Chinese Cabbage Cultivar in Summer Harvesting

現在、我が国には夏に平坦地で作りやすい結球ハクサイがないため、7月から9月に長崎県に入るハクサイは、長野県の高冷地物で占められている。高冷地がなく夏野菜の不足する本県では、夏野菜の産地化を進めているところである。そこで昭和57年3月、台湾の亜細亜蔬菜研究センターで育成された耐暑性ハクサイを導入し、試作検討したのでその概要を報告する。

1. 試験方法

導入系統は表に示す18系統および対照品種として青海、サラダ、夏宝の3品種を供試した。播種期は7月2日と7月30日の2回、6cmポリポットに播き、20日間苗床で管理し、7月22日と8月16日にそれぞれ定植した。栽植距離は畦幅150cmの2条植え、株間40cm、a当たり340株植えとした。施肥量はC D U (S555)を成分量N : 22.5, P₂O₅ : 22.5, K₂O : 22.5kg/10aあて全量基肥として施した。

2. 結果および考察

生育状況は7月2日播種区は定植直後の7月23日に530mmの集中豪雨にあい、圃場が約6時間冠水し、4~5cmの土砂に埋れた。翌々日までに株元の土砂を除いたが、初期生育は全般に鈍く、結球開始期が若干遅れた。7月30日播種区は定植後晴天が続き、やや干ばつ気味であったが、頻繁なかん水の結果、生育はほぼ順調であった。

草勢は全般的に中晩生型の系統が強く、77M(3)-26、77M(3)-38などの系統が優れていた。

結球の早晩は大部分の系統が、播種後40~45日で結球開始、60日前後で収穫期に達した。供試系統中早く結球したのは77M(2)-24など8系統、中間型が77M(3)-38など6系統、晩生型が77M(3)-33など6系統であった。なおB-40だけは極晩生型で他の系統より10日以上遅れた。

収穫期は結球期が高温期に当たるため、秋どりに比べ若干早目の8~9分結球で収穫した。収量は平均球重が1~1.5kg程度で、供試系統中最も大きかったのは、77M($\frac{2}{3}$)-43で、1球重1540g、また1400g以上が7系統程であった。逆に最も小さかったのはB-40、B-189C₁とサラダ(対照)など900g前後であった。

耐病性は結球開始期以降、高温多雨の悪条件であったため、軟腐病が多発し、とくに夏宝やHybrid-8144号などの品種は弱く、40~50%腐敗したのに対し、77M(3)-38、青海(対照)の2品種は全然発病がなく、全株が結球した、その他10%以下の発病系統は77M(3)-35、77M(3)-40、77M($\frac{2}{3}$)-41、77M($\frac{2}{3}$)-45などの系統であった。

なおモザイク病、べと病などの病害については、発生を

みなかった。

要素欠乏については、7月2日播種区では確認されなかったが、7月30日播種区において、生育中期にホウソク欠乏症状が、77M(2)-25、77M(3)-33など若干の系統でわずかに観察されたが、ホウ砂稀釈液を2回、a当たり300かん注した結果、症状は消失した。

品質は、対照品種の夏宝、サラダ白菜に比べ、葉色が濃緑で、球内は淡黄色を呈し、軟白性に富み、肉質は軟らかかったが、秋どりのような味は若干劣っていた。

以上の結果、草勢に強く、耐病性で葉色が濃緑、結球期が中間型の豊産性である、77M(3)-26、77M(3)-35、77M(3)-41、77M($\frac{2}{3}$)-43と青海の5系統を有望と判定した、これらの系統は、一般の秋作に比較すると球は小さいが、夏場の高温期においても、平坦地でも十分結球し、10a当たり4t以上の収量を確保されたことから、実用性は十分あると思われる。

収量および耐病性等の調査結果

系統名	項目	a 当	1 球	球 形	病株率	ホウソク 欠乏症	有望度
	り収量	平均重	指 数	%			
		kg	kg				
77M(2)-24	322	1.16	1.42	16.6	少		
〃(2)-25	307	1.39	1.43	33.3	多		
〃(3)-26	348	1.18	1.80	11.1	無	◎	
〃(3)-29	320	1.25	1.75	22.2	微		
〃(3)-33	315	1.07	1.85	11.1	多		
〃(3)-35	350	1.11	1.85	5.5	無	◎	
〃(3)-38	408	1.23	2.00	0	甚		
〃(3)-40	409	1.30	1.50	5.5	中	○	
〃(3)-41	357	1.13	1.56	5.5	無	◎	
〃(3)-43	454	1.53	1.41	11.1	無	◎	
〃(3)-44	395	1.42	1.56	16.6	多		
〃(3)-45	406	1.29	1.35	5.5	中	○	
Hybrid-58	378	1.46	1.47	22.2	微		
〃-59	313	1.21	1.47	22.2	無		
〃-62	328	1.48	1.57	33.3	中		
〃-8144	207	1.40	1.52	55.5	無		
B-189C ₁	205	0.93	1.26	33.3	無		
〃-40	214	0.97	1.91	33.3	無		
青海(対照)	468	1.40	1.54	0	少	◎	
サラダ(〃)	179	0.86	1.66	38.8	無		
夏宝(〃)	237	1.43	1.93	50.0	中		

(備考) 球形指数 = $\frac{\text{球の高さ}}{\text{球の幅}}$

有望度 = ◎最有望、○有望